



両診療所の赤字額が約9億円に

行革推進委員会の答申受け統合

コスモス診療所を方城診療所へ統合

コスモス・方城の両診療所は、合併後に、学識経験者や住民代表を含む17人で構成された「福智町行財政改革推進委員会」から「両診療所を一つに統合すべき」という答申を受けていました。しかし、福智町は、地域医療を守るべく、両診療所の運営を継続しながら、人件費の削減、維持経費の削減など、たゆまぬ経営改善を行って参りましたが、赤字経営を改善できず、平成28年度には、一般会計より3億円を補填^{まづ}。令和元年度で約1億3千万円の赤字を計上しています。現在では、町営診療所の累計が約8億5千万円(コスモス診療所5億3千万円、方城診療所3億2千万円)を超えるなど、町財政を非常に圧迫する状況となっています。

供の維持、そして継続のためにも、両診療所の統合を早期に実現しなければならぬとの結論に至りました。つきましては、令和4年度を目標に、地域に住む高齢者の皆さまに多く利用されている方城診療所へ、コスモス診療所の小児科機能を集約した診療所の実現を目指して参ります。統合による受診者の増加を見込み、診療室や待合室の拡張など、診療所整備を進めていく所存です。

また、統合後のコスモス診療所跡地は、建物面積が広大で、多額の維持管理費を要していることや、今後も高齢者人口が増加する将来を見据え、高齢者の皆さまを対象とした医療法人への移譲を進めて参ります。

今後も、住民の皆さまへ安心・安全な医療提供を継続するために、コスモス診療所を方城診療所へと統合する行財政改革に対し、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

福智町長 黒土孝司

コスモス診療所は、方城診療所の改修工事が完成する令和3年度末まで受診できます。なお、高齢者医療に特化した民間の医療法人の移譲選定は、令和3年度から開始する予定です。

